

# 戦争・原発・石炭火力 三つのFireを消す！



海上自衛隊の新型護衛艦。潜水艦救難艦ちよだ。補給艦ときわ。



石炭火力発電所 毎日1万トンの石炭を燃やす。1千トンの廃棄物。2万トンのCO2の排出。

# デメリットCO2が多いのは認めていく



GNFは、沸騰水型原子炉（BWR）用核燃料の製造を行う企業。



シートベルトをしてくださいと乗車の度に一言。馬場さん運転ご苦労様でした。

## 九条かながわ

発行：九条かながわの会  
2024年4月7日 No.29

〒221-0823  
横浜市神奈川区二ツ谷町2-9  
二ツ谷コア202

☎ 090-6371-3874

e-mail : article9@nifty.com

3月17〜18日にかけて「横須賀の三つの炎を消す」として九条かながわの会の合宿を行いました。

予定ではヨットに乗って湾内を見学予定でしたが風が強いため中止になりました。残念でした。また機会あれば参加したいです。

公園から海上自衛隊の新型護衛艦（船名確認できず）などをカメラに収めました。後に調べた結果、潜水艦救難艦ちよだと補給艦ときわと分か

りました。

私が気になったのは石炭火力発電所でした。2030年までに脱石炭を実現・宣言をした国（47）に日本の名前がない。千葉では、市原・袖ヶ浦、蘇我では計画が中止されている現状があります。

ネットで調べてみると、石炭は、ほとんどオーストラリアから輸入。紛争国でないから価格は安定している。と評価。しかし、二酸化炭素が多く出るためデメリットだと認

めています。

毎日、2万トンの二酸化炭素が排出されていると言います。

岡田事務局代表は、「これからは護憲団体との共同だけではなく、地球と人類をどう守るといふ観点からは広く環境保護団体やSDGs問題に取り組む団体とも積極的に共同していく」と訴えました。

まったくその通りだと今回の合宿で勉強できて良かったと思えました。記事・岡